

博物館

1. 基本理念

- ・市民の創造性を高めます。
- ・郷土を大切に作る心を育みます。
- ・世代をつなぎます。
- ・歴史を未来に活かします。
- ・学校教育をより豊かなものにします。

2. 施設の概要

・名称	四日市市立博物館	
・所在地	四日市市安島一丁目3番16号	
・開館年月日	平成5年11月2日	
・敷地面積	1,845.840 m ²	
・建設面積	1,590.397 m ²	
・延床面積	10,147.108 m ²	
・建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2F、地上6F	
・主な室名と面積		
展示・教育部門	2,156.155 m ²	
常設展示室	2 F	564.691 m ²
常設展示室	3 F	454.618 m ²
特別展示室	4 F	594.798 m ²
ラウンジ	2～4 F	281.020 m ²
情報コーナー	1 F	118.810 m ²
講座室	1 F	142.218 m ²
収蔵部門	1,256.230 m ²	
収蔵庫①	B 2 F	243.290 m ²
収蔵庫①前室	B 2 F	38.880 m ²
収蔵庫②	B 1 F	282.170 m ²
収蔵庫③	B 1 F	384.496 m ²
収蔵庫③前室	B 1 F	76.086 m ²
荷解室	1 F	231.308 m ²
研究部門	430.207 m ²	
作業室	2 F	60.464 m ²
資料整理室	B 1 F	84.370 m ²
文献資料室	3 F	37.952 m ²
資料評価室	4 F	33.300 m ²
くん蒸室	B 1 F	43.070 m ²
スタジオ暗室	B 1 F	87.510 m ²
ビデオ編集室	B 1 F	16.882 m ²
会議室②	4 F	37.952 m ²
会議室③	3 F	28.707 m ²
プラネタリウム部門	1,714.282 m ²	
客室（ドーム）	5 F～6 F	565.017 m ²
天文学習室	5 F	59.081 m ²
天文展示コーナー	5 F	194.763 m ²
プラネタリウム事務室	5 F	59.326 m ²
空調機械室	5 F～6 F	836.095 m ²
管理・一般部門	4,590.234 m ²	
事務室	3 F	105.059 m ²
館長室	2 F	37.001 m ²



会議室①	2 F	50.422 m ²
ミュージアムショップ	1 F	28.723 m ²
警備室	1 F	20.812 m ²
中央監視室	B 2 F	44.064 m ²
設備機械室	B 2 F	486.190 m ²
電気室、発電機室		240.152 m ²
倉庫、展示備品庫など		3,577.811 m ²
プラネタリウム		1,714.000 m ²
ドーム径 18.5m 傾斜型（傾斜度 20度）		
座席	155 席	
ヘリオス		
全天周映画	可能	

3. 展示等事業

(1) 常設展示

博物館の常設展示は、基本テーマ「伊勢湾（うみ）と鈴鹿山脈（やま）のある四日市の文化と生活環境」をもとに地質時代から現代に至る「四日市のあゆみ」をその時代ごとの特色を生かし、テーマ1～テーマ6に分けて展示する。

各テーマのスペースでは、そのテーマのメインとなる展示とその他の詳細な展示に分け、展示資料に応じて実物や複製品、情景模型のほか映像や図表などで表現している。

また、文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄の業績を永く伝えていくため丹羽文雄記念室を開設した。

・テーマ1 北勢地域のおいたちと自然環境

テーマ展示では、本市平津町で発見されたアケボノゾウの臼歯の化石とその全身骨格の復元模型を展示している。

詳細展示では、「自然のすがた」「大地のおいたち」「化石は語る」など現在までの伊勢湾や鈴鹿山脈、伊勢平野の地形と地質の成り立ちや自然環境の様子を展示している。

・テーマ2 原始・古代の人びとの生活

テーマ展示では、縄文・弥生・奈良各時代の集落の様子や古墳時代の前方後円墳の築造過程を情景模型で展示している。

詳細展示では、「石器を使った人びと」「土器を使った

人びと」「米づくりと青銅器の製作」「大和朝廷と北勢地域」「古墳の築造と渡来人の活躍」「律令国家への道」など、旧石器時代から縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良時代を経て平安時代までの人々の生活の様子を展示している。

・テーマ3 『四日市』と『四日市庭浦』の成立

テーマ展示では、市名の由来となった中世後期の市や町並みの様子を推定復元し、情景模型で展示している。

詳細展示では、「中世の武士と商人」「伊勢湾諸湊と四日市庭浦」「くらしと生活用具」「いのりと信仰の世界」など、「四」のつく日に定期的に市が開かれて、『四日市』の名称が起ったこと、伊勢湾の水運にも『四日市庭浦』が重要な役割を果たしたことを中心に鎌倉時代から安土桃山時代までの様子を展示している。

・テーマ4 東海道と伊勢参宮道の賑わい

テーマ展示では、情景模型に映像を内蔵した特殊映像装置を用い、東海道と伊勢参宮道の分岐点である日永の追分の賑わいを再現している。

詳細展示では、「近世への胎動」「宿場と東海道」「四日市湊と町の展開」など四日市が東海道五十三次の四十三番目の宿駅として、また日永が伊勢参宮道との分岐点として発展してきた江戸時代の様子を展示している。

・テーマ5 四日市港と近代産業の発展

テーマ展示では、大正時代の市中心部の装置模型や旧四日市港の潮吹き堤防の情景模型を展示している。

詳細展示では、「みなとの整備」「近代のくらしと社会」「地場産業と近代産業」など本市の近代化の大きな礎となった四日市湊の改修と機械生産の技術導入による製糸をはじめ製茶、製網、製油、萬古焼の地場産業に焦点を当て、また、幕末、明治以降から市制を施行し次第に市域を拡大していく昭和初期までの近代の様子を展示している。

・テーマ6 戦災からの復興と都市の創造

テーマ展示では、本市の重要な産業である石油化学工業を映像や装置模型で展示している。

詳細展示では、「戦後のあゆみ」「港湾産業都市としての再生」「石油化学工業」「四日市港の輸出入」など。また情景模型に映像を内蔵した特殊映像装置を用いて甚大な被害をもたらした四日市空襲とその後の復興を再現するとともに、産業都市として再生してきた現代の様子を市民生活と産業の二つの視点から取り上げている。

・コーナー展示 浮世絵四日市・四日市祭り

四日市が描かれた浮世絵と、戦前には「東海三大祭り」のひとつに数え上げられた四日市祭りの代表的な山車や練り物を縮尺1/20と1/40の復元模型で展示している。

・丹羽文雄記念室

文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄(平成17年4月逝去)の足跡と業績を紹介している。丹羽作品の初版本や豪華本を始め、芸術家のための健康保険組合の創設、「文学者の墓」の建立など、文学者の社会的地位の向上に尽力し、日本文藝家協会理事長を長く務め

た功績などを展示している。

また、20数年にわたって丹羽が私費を投じて刊行した雑誌「文学者」の同人たちが集った丹羽邸応接間も再現されている。

(2) 特別展・企画展

① 「追悼 丹羽文雄」展

—わが母、わが道、わが文学—

- ・期 間：平成18年4月23日(日) から 6月4日(日) までの37日間
- ・入場者： 2, 784人
- ・関連事業(講演会) [場所：講座室]

演 題	「生母もの」「マダムもの」の成立
日 時	平成18年5月13日(土) 14:00~15:30
講 師	秦 昌弘(当館学芸員)

② 「虫・ムシ大集合～ふしぎ発見！昆虫の進化と生態～」

- ・期 間：平成18年7月15日(土) から 9月3日(日) までの44日間
- ・入場者： 14, 158人
- ・関連事業(昆虫凧作り教室) [場所：エントランスホール及び講座室]

内 容	昆虫の形をした凧作り教室
日 時	平成18年7月16日(日) 平成18年8月12日(土)

関連事業(昆虫折り紙教室) [場所：講座室]

内 容	比較的折り易い昆虫の折り紙を低学年向けに開催。パワーポイントなども用いて昆虫についての解説付きで行った。
日 時	平成17年7月30日(日) 10:00~12:00 14:00~16:00

③ 「2006 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

- ・期 間：平成18年9月30日(土) から 10月29日(日) までの26日間
- ・入場者： 7, 036人
- ・関連事業(講演会) [場所：講座室]

テ ー マ	絵本・動物・アフリカ
日 時	平成18年10月14日(土) 10:00~12:00
講 師	あべ弘士(絵本作家) 増田喜昭(子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主)

・関連事業（子どものためのワークショップ）
〔場所：講座室〕

テ ー マ	おおきなどうぶつを描こう！
日 時	平成18年10月14日（土） 14:00～16:00
講 師	あべ弘士（絵本作家） 増田喜昭（子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主）

④「～泗水のイメージ～浮世絵に描かれた四日市」

・期 間：平成18年11月7日（火）から
12月10日（日）までの30日間
・入場者： 2, 766人
・関連事業（講演会） 〔場所：講座室〕

テ ー マ	浮世絵に描かれた四日市
日 時	11月11日（土） 14:00～15:30
講 師	赤川一博（当館学芸員）

⑤「正倉院 その源流を訪ねて
～シルクロードを旅した美術～」

・期 間：平成17年1月27日（土）から
3月11日（日）までの38日間
・入場者： 6, 354人

⑥「第48回 北勢地区高等学校美術展」

・期 間：平成18年12月19日（火）から
12月24日（日）までの6日間
・入場者： 412人

(3) 特別陳列・学習支援展示

特別陳列「新収蔵品展」

・期 間：平成18年3月24日（土）～4月15日（日）
・場 所：3階サルビアギャラリー

学習支援展示

- ①平成18年4月29日（土）～6月4日（日）
「大昔の四日市－弥生時代と古墳時代」
- ②平成18年6月17日（土）～8月20日（日）
「四日市空襲と戦時下の暮らし」
- ③平成18年10月17日（火）～11月26日（日）
「四日市港の歴史」
- ④平成18年12月19日（火）～平成19年3月4日（日）
「むかしの暮らし」

4. 教育普及事業

(1) ミュージアムセミナー（全4回）

テーマ：再発見・丹羽文学 〔場所：講座室〕

演 題	丹羽文雄の出発 －デビュー作の周辺－
日 時	平成18年6月3日（土） 14:00～15:30
講 師	早稲田大学教授 中島国彦

演 題	丹羽文学における〔ふるさと〕、そして〔母〕
日 時	平成18年8月5日（土） 14:00～15:30
講 師	皇學館大学教授 半田美永

演 題	丹羽文雄の初期作品
日 時	平成18年10月7日（土） 14:00～15:30
講 師	三重大大学教授 高橋昌子

演 題	丹羽文雄の宗教小説
日 時	平成18年12月16日（土） 14:00～15:30
講 師	奈良女子大学名誉教授 濱川勝彦

(2) 博物館教室

テーマ：美術入門「絵ごころを育む講座」（全5回）

〔場所：講座室〕

3月4日	日	絵画って何だろう？	講師 鈴木田 俊二 (モダンア ト協会会 員・名古 屋芸術 大学講師)
3月10日	土	形って何だろう？	
3月11日	日	色って何だろう？	
3月17日	土	彫刻って何だろう？	
3月18日	日	デザインって何だろう？	

(3) 子ども博物館教室

①ワークショップ (全6回)

[場所：講座室及び館内]

6月17日	土	四日市空襲の話を知ろう	当館指導主事 野口 裕
7月22日	土	博物館を探検しよう	
7月29日	土	虫のヒミツをさがろう	
10月1日	日	自分だけの絵本を つくろう	当館学芸員 中野千幸
11月18日	土	浮世絵を刷ってみよう	
11月25日	土		

②古代米づくりと土器づくりシリーズ (全7回)

5月14日	日	古代米の田植え	当館学芸員 中野千幸 当館指導主事 野口 裕
6月3日	土	土器づくり	
7月1日	土	田の草取り	
8月5日	土	土器の野焼き	
10月7日	土	石包丁で稲刈り	
11月4日	土	たて杆と臼で脱穀	
11月11日	土	土器でごはんを炊く	

③むかし体験シリーズ (全6回)

1月13日	土	むかしの道具を つかってみよう	当館指導主事 野口 裕
2月17日	土		
1月20日	土	ベーゴマであそぼう	当館学芸員 中野千幸
2月18日	日		
1月21日	日	むかしのおやつを つくろう	
3月3日	土		

(4) 高校生のための博物館教室

8月6日	日	博物館って どんなところ? ～職場体験～	当館指導主事 野口 裕
------	---	----------------------------	----------------

(5) 教員のための体験的博物館研修

8月21日	月	教員のための 体験的博物館研修	当館企画普及係 職員
-------	---	--------------------	---------------

5. 資料収集・保存

(単位：件) (平成19年3月末現在)

区 分	実 物	標 本	模 型 写	
			模 複	写
1 人 文 科 学 資 料	(1)古美術資料	1,078	4	10
	(2)近代美術資料	454	0	0
	(3)考古学資料	960	6	20
	(4)民俗資料	4,145	0	10
	(5)民族・人類学資料	0	0	0
	(6)歴史資料	9,395	0	37
	(7)その他の資料	74	4	9
	計	16,106	14	86
図書 7,362	写真 67	その他	110	

区 分	実 物・標 本	模 型 写	
		模 複	写
2 自 然 科 学 資 料	(1)動物資料	0	0
	(2)植物資料	3,272	0
	(3)地学資料	93	2
	(4)理工学資料	0	0
	(5)天文資料	7	0
	(6)その他の資料	0	1
	計	3,372	3
図書 473	写真 59	その他	10

6. プラネタリウム事業

季節番組を二種類(家族向けと一般向け)に分け、投映方式を継続・充実させた。一般向け番組は自主企画で制作し、50分間のフルライブ解説とした。また、星空をゆっくりと眺めたいといわれる市民のニーズに応えるために、季節を代表する星座を月替わりに紹介する「星座神話番組～神話の星めぐり～」を投映した。家族向け番組は、子どもたちに人気のあるキャラクターが登場する作品を採用した。市民が天文・科学をより詳しく学習する機会として、「宇宙塾」を年4回実施した。その他、聴覚障害者にも配慮した字幕付き投映、園児や児童を対象とした学習投映、各種コンサート、香りと星空を楽しむ新企画「アロマと星の旅」を実施した。

天文普及活動では、プラネタリウム番組と関連をもたせた宇宙服等の展示や観望会の実施、子ども天文教室、少年自然の家との連携事業、JAXAタウンミーティング、科学技術振興機構(JST)による地域科学館連携支援事業など各種の事業を実施し、幅広く天文の普及に努めた。

I プラネタリウム投映

(1) 季節番組

○平成18年6月1日(木)～平成19年5月26日(土) 星座神話番組:(一般) 6月「うしかい座」,7月「へびつかい座」, 8月「ヘルクレス座」,9月「いるか座」, 10月「ペガサス座」,11月「アンドロメダ座」, 12月「エリダヌス座」,1月「ぎょしゃ座」, 2月「オリオン座」,3月「おおいぬ座」, 4月「うみへび座」,5月「おおぐま座」
①平成18年2月4日(土)～5月28日(日) 冬春番組:(一般)「俳句と星～山口誓子が見た星空～」 (家族)「おじやる丸 いん石小僧がふってきた!」
②平成18年6月3日(土)～9月24日(日) 夏番組:(一般)「クイズで挑戦! ムーン・ミステリー」 (家族)「銀河鉄道999 ー消えた太陽系ー」
③平成18年9月30日(土)～平成19年1月28日(日) 秋冬番組:(一般)「宇宙へ行こう!」 (家族)「星の王子さま」
④平成19年2月3日(土)～5月27日(日) 冬春番組:(一般)「なんてん物語」 (家族)「忍たま乱太郎 星に誓った友情物語の段」

※上記①～④の番組については、各1回字幕付き投映を実施

(2) 学習番組 (団体利用投映)

<ul style="list-style-type: none"> ・平日の午前 ①10:00 ②11:00 ・保育園、幼稚園、小・中学校、高校等の団体対象 ・季節の星座を中心に、年齢・学年に応じた、生解説による双方向型の学習用プラネタリウム

<季節番組・学習番組の投映時刻>

平日 (午前は団体のみ)	学習 10:00 11:00	一般向け 13:20	一般向け 14:40	
土曜日 春夏冬休みの 平日	家族向け 10:30	家族向け 13:20	一般向け 14:40	一般向け 16:00
日曜日・祝日 春夏冬休みの 土・日・祝日	家族向け 10:30	家族向け 13:20	一般向け 14:40	家族向け 16:00

※4,5月の平日のみ、11:00の回は、「アロマと星の旅」を実施

(3) 特別番組

<p>「宇宙塾」～天文楽しませんか?～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間4回 16:30～18:00 ・天文学最前線で活躍中のゲストを迎えて、最新の話題や実験質問、体験講座をおりませた、プラネタリウム特別版 <p>①平成18年5月20日(土) 講師:国立天文台岡山天体物理観測所研究員 佐藤 文衛 「第2の太陽系を探せ!」</p> <p>②平成18年7月15日(土) 講師:天文研究者 浅田 英夫 「望遠鏡で宇宙が見えた!」</p> <p>③平成18年12月16日(土) 講師:京都大学名誉教授 黒河 宏企 「太陽面爆発と宇宙天気予報」</p> <p>④平成19年1月13日(土) 講師:三重大学教育学部助教授 伊藤 信成 「中学生のための宇宙塾」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙塾実践編「デジカメ天体写真講座」(3回連続講座) ・16:30～18:00 講師:天体写真家 谷川 正夫 第1回 平成18年10月7日(土):講師による講義 第2回 平成18年10月28日(土):参加者と天文係による実技(撮影) 第3回 平成18年12月2日(土):講師による講義(画像処理)

<p>星空生演奏コンサート (全4回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19:00～20:30、④のみ18:00～19:30 ①平成18年7月7日(金) 「七夕コンサート」 演奏:ア・ピアチューレ弦楽四重奏団 ②平成18年10月6日(金) 「お月見コンサート」 演奏:わおん(津軽三味線三重奏) ③平成18年12月22日(金) 「クリスマスコンサート」 演奏:リュート&ソプラノ ④平成19年3月17日(土) 「早春コンサート」 演奏:白子高校吹奏楽部(木管七重奏団)

<p>アロマと星の旅 (全22回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4,5月の平日のみ11:00～11:50 4月 北海道編 「ラベンダーの香りと北海道の星空」(11回) 5月 沖縄編 「マンダリンの香りと沖縄の星空」(11回)

星空CDコンサート (全4回)
<p>・19:00～20:00</p> <p>①平成18年5月12日(金) 春の星と『ゴスペラーズ特集』</p> <p>②平成18年8月11日(金) 夏の星と『BUMP OF CHICKEN 特集』</p> <p>③平成18年11月10日(金) 秋の星と『SMAP 特集』</p> <p>④平成19年2月16日(金) 冬の星と『中島美嘉特集』</p>

クリスマス特別投映 (4回)
<p>10:30、13:20、14:40、16:00 平成18年12月25日(月) 「ローズウッド+オレンジの香りと 北歐の夜空に輝くオーロラ」</p>

※10:30の投映は、「星の王子さま」を実施

II 天文普及活動

子ども天文教室 (2コース 夏2回・冬2回 全4回)
<p>①夏コース 第1回：平成18年7月29日(土) 第2回：平成18年8月19日(土)</p> <p>②冬コース 第1回：平成19年1月27日(土) 第2回：平成19年2月24日(土)</p> <p>各コースとも、第1回 プラネタリウム見学と きらら号での観望会 第2回 天文工作</p>

親子星空教室 ～望遠鏡の使い方～
<p>①月の観望会 日時：平成18年8月1日(火) 19:00～20:30 場所：星の広場(水沢町)</p> <p>②月の観望会 日時：平成18年11月25日(土) 19:00～20:30 場所：星の広場(水沢町) 天候不順のため中止</p>

公開観望会
<p>①夏の大三角と天の川観望会 日時：平成18年8月26日(土) 19:00～21:00 場所：星の広場(水沢町) 天候不順のため中止</p> <p>②しし座流星群観望会 日時：平成18年11月18日(土) 19:00～21:00 場所：星の広場(水沢町) 天候不順のため中止</p>

特別企画「JAXA タウンミーティング in 四日市」

市民と語り合う宇宙航空研究開発
<p>日時：平成18年11月12日(日) 18:00～20:00</p> <p>講師：JAXA 理事 樋口 清司 JAXA 教授 川口 淳一郎 JAXA 広報部長 八代 清高</p>

共催事業による観望会
<p>①日本カモシカセンターとの共催 プラネタリウム観望と御在所山頂での観望会 平成18年7月22日(土)～23日(日)1泊 場所：博物館、御在所岳山頂</p> <p>②少年自然の家との共催 プラネタリウム観望と地球照観望会、移動式プラネタリウムによる星空観察 平成18年12月23日(土) 場所：博物館、少年自然の家</p>

プラネタリウム指導者研修会
<p>・教育センターと共催で、教員と市民を対象</p> <p>①平成18年8月7日(月) 講師：天文係</p> <p>②平成18年8月21日(月) 講師：愛知教育大学教育学部教授 沢 武文</p>

天体写真展
<p>デジカメ天体写真講座の受講者を主な対象に天体写真展を実施した。</p> <p>日時：平成19年3月3日(土)～4月5日(木) 16:30～18:00 場所：1階エントランスホール</p>

学校との連携(出前授業)
<p>・市内、三重郡の小中学校を対象に、出前授業を実施した。</p> <p>①平成18年10月から平成19年1月の平日の期間 対象：小学校4年生 内容：「バーチャル星空探検」 月の動きやスペースシャトルと国際宇宙ステーションについて、立体映像装置を用いて学習する。 実施校数：14校(市内12校、三重郡2校)</p> <p>②平成18年10月から平成19年2月の平日の期間 対象：中学校3年生 内容：星の日周運動、年周運動、異なる緯度での星の見え方や惑星の動きを移動式プラネタリウムを用いて学習する。 実施校数：12校(市内11校、三重郡1校)</p>

7. 移動天文車「きらら号」事業

口径 20cm の天体望遠鏡をのせた移動天文車による星空観望会を実施した。ボランティアの方々の協力を得て、子どもから大人まで多くの人に実際の宇宙の姿を眺めていただいた。

(1) 自主事業

公開観望会	
①土星を見よう！	日時：平成18年4月27日（木） 19:00～20:30 場所：市民公園（博物館前）
②太陽を見よう！	日時：平成18年5月7日（日） 10:00～15:30 場所：四日市ドーム前（天候不順により中止）
③木星を見よう！	日時：平成18年5月20日（土） 19:00～20:30 場所：市民公園（博物館前）
④月を見よう！	日時：平成18年6月3日（土） 19:30～21:00 場所：三滝公園
⑤木星を見よう！	日時：平成18年7月20日（木） 19:30～21:00 場所：楠緑地公園（天候不順により中止）
⑥太陽を見よう！	日時：平成18年8月6日（日） 10:00～15:00 場所：四日市港ポートビル前
⑦太陽を見よう！	日時：平成18年9月9日（土）、10日（日） 場所：楠緑地公園 10:00～15:00
⑧サンデー太陽観望会	日時：平成18年9月24日（日） 13:30～15:00 10月22日（日） 13:30～15:00 (天候不順により中止) 11月19日（日） 13:30～15:00 (天候不順により中止) 場所：市民公園（博物館前）
⑨ふたご座流星群とすばるを見よう！	日時：平成18年12月14日（木） 18:30～20:00 場所：伊坂ダム（天候不順により中止）
⑩宇宙塾・観望会	日時：平成18年12月16日（土） 13:30～15:00 平成19年1月13日（土） 18:30～20:00 場所：市民公園（博物館前）
⑪オリオン大星雲を見よう！	日時：平成19年2月17日（土） 18:30～20:00 場所：桜運動公園（天候不順により中止）
⑫月と金星と土星を見よう！	日時：平成19年3月23日（金） 19:00～20:30 場所：楠緑地公園

(2) 派遣事業

要請により市内各地へ出動し、天文ボランティアの協力

を得て観望会を行った。

「きらら号」稼働状況（派遣事業のみ）

稼働予定件数	35 件	参加者数	2,335 人
うち派遣回数	23 回	ボランティア数	延べ137 人

8. 開館時間等

開館時間

午前9時30分から午後5時まで

（ただし入館は閉館の30分前までに）

休館日

月曜日（休日の場合は翌日）及び年末年始

館内整理期間（9月上旬）

観覧料金

区分	博物館特別展示	プラネタリウム	プラネタリウム特別番組
一般	その都度定める額	530円	その都度定める額
高大生	無料	370円	
小中生	無料	200円	

※20名以上の団体は8割

※博物館常設展示は無料

施設利用

	9～12時	13～17時	9～17時
特別展示室 595㎡	—	—	31,500円
講座室 142㎡	8,400円	12,600円	21,000円
市民ギャラリー94㎡	—	—	2,100円

※観覧料等を徴収する場合は、100分の50を乗じて得た額を加算する。

※博物館の設置目的に反しないもの、事業に支障のないものに限る。

※商業宣伝、営業行為には使用できない。

9. 月別入館者数

(単位：人)

月	常設展		特別・企画展		プラネタリウム		月 計	
4月	26日	340	7日	1,058	23日	77回	1,364	2,762
5月	26日	848	26日	1,372	23日	80回	1,781	4,001
6月	26日	1,724	4日	354	25日	94回	4,272	6,350
7月	26日	3,783	14日	4,121	26日	98回	4,660	12,564
8月	27日	6,792	27日	9,191	27日	111回	7,469	23,452
9月	17日	1,009	4日	1,017	14日	49回	1,455	3,481
10月	26日	3,327	25日	6,865	26日	94回	3,314	13,506
11月	26日	1,985	21日	1,999	26日	90回	2,932	6,916
12月	22日	1,447	9日	767	19日	62回	1,387	3,601
19年1月	24日	3,488	4日	635	21日	74回	2,101	6,224
2月	24日	4,377	24日	4,135	22日	79回	2,671	11,183
3月	27日	1,858	10日	1,584	24日	78回	1,858	5,300
合計	297日	30,978	175日	33,098	276日	986回	35,264	99,340

[参考]

過去3年間の入館者数

年度	常設展		特別・企画展		プラネタリウム		合計人数
17	296日	24,171人	216日	26,940人	273日	42,519人	93,630人
16	299日	22,626人	206日	29,498人	278日	32,333人	84,457人
15	301日	24,093人	184日	28,413人	277日	34,591人	87,097人